








# ペダルのおけいこ

～指導の手引き～

| ページ | タイトル、曲目                               | 内 容  |   |
|-----|---------------------------------------|------|---|
| 4   | あしけんぱんを<br>みてみよう                      | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・足鍵盤の観察、「ド」の位置を確認</li> <li>・足鍵盤・手鍵盤の比較、同じ仕組みであることの認識</li> </ul>  |
|     |                                       | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちょうちょ」や「チューリップ」など生徒のよく知っている曲を、上鍵盤、下鍵盤、足鍵盤（左足）で弾いて、その音の高低を体験します。</li> <li>・足鍵盤は、主に低い音を演奏するものと認識することが大切です。</li> </ul>  |
| 5   | あしけんぱんの<br>ひきかた                       | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい姿勢、弾き方</li> </ul>  |
|     |                                       | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず先生が、このページの正しい姿勢、足鍵盤の弾き方を実演しましょう。</li> <li>・左足親ゆびのつけ根のあたりが、足鍵盤との接点になります。</li> <li>・打鍵の動作は、主に足首を使います。膝が大きく上下しないように気をつけましょう。</li> <li>・うまく行かない生徒には、少しずつ指導してください。</li> </ul>  |
| 6   | ソルフエージュ①<br>あしけんぱんで<br>「ド」を<br>ひいてみよう | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい弾き方</li> <li>・音価の把握（全音符、2分音符、4分音符）</li> <li>・「ド」（足鍵盤）</li> </ul>  |
|     |                                       | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ド」の位置と、音価の区別をしっかりと説明してください。</li> <li>・リズムを鳴らして、さまざまな音価で「ド」を弾いてみましょう。<br/> など、リズム打ちで使用するようなカードを使うとよいでしょう。</li> <li>・ペダルに足が届かない場合は、補助ペダルを使用しても構いません。</li> </ul> |
| 7   | ♪さあ、<br>しゅっぱつだ！                       | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前ページ内容の再確認</li> <li>・リピート記号</li> </ul>  |
|     |                                       | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・拍をしっかりと感じながら、3種類の音符を弾きわたることが大切です。</li> <li>・左足のコントロールが難しいときは、まず左手で弾いてみて、音のイメージを作ってから練習しましょう。</li> <li>・先生のパートをよく聴きながら弾きましょう。</li> <li>・うまく弾けたら、ステップアップでとなりの「シ」にもチャレンジしましょう。</li> </ul>  |
| 8   | ソルフエージュ②<br>「ド」と「シ」をさ<br>がそう          | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ト音記号、ヘ音記号の区別</li> <li>・「ド」「シ」の読譜</li> </ul>   |
|     |                                       | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～6、ひとつずつ読んで、音で鳴らしてみましょう。</li> <li>・「ド」「シ」ではない音符も含まれているので、注意しましょう。</li> </ul>   |
| 9   | ♪おほしさま                                | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ド」「シ」（足鍵盤）</li> <li>・左手と足の交互奏、同時奏</li> </ul>  |
|     |                                       | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が左足の動きが良く分かるように、まず、先生がお手本演奏をしてください。</li> <li>・先生のパートは、拍のガイドと、「おほしさま」のキラキラしたイメージを表すのが役割です。生徒が拍をしっかりと数えられるよう弾いてください。</li> </ul>   |
| 10  | ♪てを<br>たたきましょう                        | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ド」「シ」（足鍵盤）</li> </ul>   |
|     |                                       | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず先生の演奏(全パート)を聴かせてあげましょう。</li> <li>・歌詞と照らし合わせることで、曲の進行わかりやすくなります。</li> <li>・ずっと「ド」ばかりのような印象ですが、最後に「シ」が登場します。注意して読譜しましょう。</li> </ul>   |

| ページ | タイトル、曲目              | 内 容   |  |
|-----|----------------------|---|--|
| 12  | ♪てんきは<br>なあに？        | ポイント  | ・長調（晴れ）、短調（雨）の聴きわけ   |
|     |                      | 留意点   | ・2曲続けて弾き、「どの国を旅行したでしょう?」などのバリエーションも楽しみましょう。<br>・明確に晴れ、雨とイメージせず、印象の違いが感じられれば十分です。「くもり」などという解答があってもよいでしょう。                           |
| 13  | ♪あめふり<br>♪あめのちはれ     | ポイント  | ・イ短調の曲<br>・足鍵盤「ド」「シ」「ラ」<br>・短調→長調、響きの変化  |
|     |                      | 留意点   | ・「ラ」「シ」「ド」と弾く際は、最初は足鍵盤を見て確認しながら弾くことになりませんが、最終的にはなるべく見ずに弾けるように指導してください。<br>・レジストレーションやテンポに変化をつけることで「大雨」「小雨」など、バリエーションを加えてください。      |
| 14  | ♪おひるね                | ポイント  | ・左手の単音と、足鍵盤の「ド」「シ」<br>・タイ  |
|     | 留意点                  | ・左手の指番号はあえてつけていません。後のコード奏を考慮すると5の指ですが、足も同時に動かすため、まずは生徒の使いやすい指で始めましょう。<br>・先生のメロディーをよく聴きながら、拍を意識して弾きましょう。<br>・足鍵盤のみの部分練習も大切ですが、左手が押さえっぱなしなので、むしろ身体のバランスをとるために左手を下鍵盤に置いておいたほうが弾きやすいこともあります。生徒の状況を見ながら進めてください。 |  |
|     | ♪おやすみなさい             | ポイント  | ・左手の重音奏<br>・ベース順次進行の「ド」「シ」「ラ」「ソ」   |
|     | 留意点                  | ・「おひるね」と同様<br>・左手重音奏、徐々にコード奏の手の構えに近づいていきます。<br>・「ソ」→「ド」の移動、初めての跳躍です。  |  |
| 15  | ♪やさしいゆめ              | ポイント  | ・全パートのソロ演奏<br>・左手3度重音の連結   |
|     |                      | 留意点   | ・3拍子のリズムをしっかり感じて演奏しましょう。左手の指づかいにも注意しましょう。<br>・両手とベースを使って、初めて演奏するため力んでしまいがちです。タイトルが示すとおり、やさしい気持ちでリラックスして弾くように心がけましょう。               |
| 16  | ソルフェージュ③<br>「ソ」をさがそう | ポイント  | ・足鍵盤「ソ」の確認   |
|     |                      | 留意点   | ・足鍵盤「ド」「シ」「ラ」「ソ」をノートに書いて理解を深めるようにしましょう。<br>・答え以外の音も、鍵盤と照合してみましょう。  |
| 17  | ♪いえじ                 | ポイント  | ・足鍵盤「ド」「ソ」の跳躍<br>・「ド」～「ソ」の順次下行<br>・Largo   |
|     |                      | 留意点   | ・コードネームには特にふれませんが、「G」「C」の響きは区別できるように指導してください。<br>・生徒は、左手と足のポジションが変化する時に演奏が止まりがちです(2～3小節目など)。多少音価が短くなっても、打鍵のタイミングはしっかり守るように指導しましょう。 |

| ページ | タイトル、曲目                             | 内 容  |  |
|-----|-------------------------------------|------|--|
| 18  | ♪コブタヌキツネコ                           | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「C」と「G」のポジションを確認</li> <li>・ の伴奏形</li> </ul>   |
|     |                                     | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず先生の演奏（全パート）を聴かせてあげましょう。</li> <li>・（ ）内を下鍵盤や、ロワースプリットを使って変化をつけて弾くのも楽しいでしょう。</li> <li>・歌詞やドレミで歌ってみましょう。</li> <li>・先生の演奏を聴きながら、あるいは歌いながら手足を使って伴奏形のリズム打ちをしてみましょう。</li> <li>・伴奏形が難しい場合は、まず全音符（●）で練習させましょう。</li> <li>・左手の指番号例：「ド・ミ」⇒「2・1」、「シ・レ」⇒「3・1」</li> </ul> |
| 19  | ソルフエージュ④<br>せんせいが<br>ひいたのは<br>どれかな？ | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コブタヌキツネコ」のフレーズを聴きとる</li> <li>・ 「シ」読譜</li> </ul>  |
|     |                                     | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴音だけでなく、「うたう、弾く、つなげて弾く」なども取り入れてください。</li> <li>・それぞれのメロディーを上手に弾けたら、前ページの「コブタヌキツネコ」を、生徒と先生の役割を交替して演奏してみましょう。</li> </ul>  |
| 20  | ♪しずかなよる                             | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソロ演奏</li> <li>・D.C.、Fine</li> </ul>  |
|     |                                     | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・右手のレガート奏が難しい場合、サスティンを加えるなど、聴き映えがするよう工夫してください。</li> <li>・ソロ演奏に慣れてきた頃です。できるだけ右手をレガートで弾けるようにしましょう。</li> <li>・左手の指づかいに注意しましょう。</li> </ul>  |
| 21  | ソルフエージュ⑤<br>せんせいが<br>ひいたのは<br>どれかな？ | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ド」「シ」「ラ」「ソ」を聴きわける</li> </ul>  |
|     |                                     | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ「ド」「シ」「ラ」「ソ」の音を鳴らして歌います。そのあと問題を提示すると、よりわかりやすくなります。</li> <li>・「ド、シ、ド」、「ド、ソ、ド」など、短いフレーズの問題も出してみましょう。</li> </ul>   |
| 22  | ♪カンカン                               | ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「C」「G」のコードネーム</li> <li>・すばやいポジション移動</li> </ul>   |
|     |                                     | 留意点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめはゆっくり、少しずつ原曲のイメージに近づけていきます。</li> <li>・また伴奏形を  に変えて弾いてみましょう。</li> <li>・可能であれば今後のために「C」「G」をコードネームとして把握し、瞬時に弾けるように指導してください。</li> </ul>                                    |